

ホームページもご覧ください

財務情報をはじめ、商品情報、オンラインショッピングなど
様々なコンテンツをご用意しています。ぜひご覧ください。



<http://www.pietro.co.jp/>

株式会社 **ピエトロ**

〒810-0001 福岡市中央区天神三丁目4番5号
電話 092-716-0300 (代表)



Business Report

第21期事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



株式会社 **ピエトロ**



ピエトロブランドを もう1度磨き、 将来への成長基盤をつくる 年度にします



本年
(平成19年3月期)の
施策などを
お聞かせください。



平成18年3月期の
業績について
お聞かせください。

A 平成18年3月期の連結売上高は101億2百万円、営業利益は7億円、経常利益は6億38百万円、当期純利益は1億76百万円となり、おかげさまで売上高3年間増収を維持することができました。「100億円」達成という目標を3年間維持できたことに喜びを感じています。しかし正直に申し上げますと、昨年頃からその「維持」には喜びと共に違和感も覚えていました。「100億円企業」であり続けるために、社員は無理をしていないか。100億円を下回ることへの恐れを抱き、怯えてはいないか。端的に言えば、ブランド力を低下させてまで守りの姿勢になってはいないか、ということです。

創業から四半世紀を過ぎ、新しいスタート台に立った今、私は本年度を「改革」の年にしたいと考えております。ピエトロブランドをもう一度磨き直し、将来への成長基盤をつくる年度にしたいと思います。そのためのキーワードは「原点回帰」です。



株主の皆様へ
メッセージを
お願いします。



先ず、「100億円企業」という枷(かせ)から社員を解放し、雄々しい攻めの姿勢を貫いてもらうために、本年度の連結売上高はあえて「95億円」に設定します。営業方法としては、ピエトロ創業時の「汗をかくて売る」ことを改めて徹底します。具体的には、主力の食品事業においては試食販売を今まで以上に増やし、直接お客様と接して「美味しさ」を訴える施策です。「安い」から買ってもらおうという方法では、価格破壊につながりかねません。「高いけど美味しい」という評価こそがピエトロのブランド価値なのです。そのように商品の良さを知ってもらう訴求をする一方で、テレビCMにも新シリーズを投入し、さらに認知拡大を図りたいと考えています。また、商品開発としては、ますます高まる健康志向に応えるべくオイルレスに近いドレッシングを開発しており、本年度秋には発売する予定です。

レストラン事業においては、ご好評いただいている「ベジメニュー(旬の野菜を使った野菜メニュー)」を一步進め、野菜を中心としたディナーコースを楽しんでいただくレストランを計画しており、他にも元気なシルバー(高齢者)世代を対象とした業態を検討中です。その一方で既存店の評価を厳しく行い、利益貢献が見込めない店舗は閉店するという果断な処置も辞さない覚悟です。



ピエトロは創業以来、多くの熱心なファンによって支えられてきました。株主様の数は一昨年約4,200名から昨年約7,900名、そして今年は約11,300名と年々増加しています。ピエトロファンの皆様、株主の皆様のご期待に応えるため、私たちはさらに企業体質を強化し、業績の本質的な向上を図る所存です。

高く跳ぶためには、一度低く構えて下半身にバネを蓄えなければなりません。本年度の連結売上高目標「95億円」は決して後退ではなく、大いなる飛躍、高い志を遂げるための攻めのフォームなのです。そのことを株主の皆様にはご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **村田邦彦**

トピックス

■ 食品

「中華」「辛ごまソース」を新発売



調理例：豚しゃぶ・中華風
豆板醤と甜面醤、3種類の香味油を使用した風味豊かなドレッシングです。



調理例：簡単えびマヨ
唐辛子の辛味、ごまのkokoroが絶妙！
料理のおいしさを引き立てる万能ソースです。

■ レストラン

旬の野菜を使った「ベジメニュー」の提案

「野菜嫌いの子供がピエトロドレッシングをかけると野菜を食べられるようになった」というお話をお客様から頂戴したことをきっかけとして、当社レストランでは、旬の野菜を美味しく召し上がっていただけるメニューを定期的にご提供しています。身近な野菜が持つ本来の味を引き出す調理法や楽しい食べ方の提案を通して、お客様に「野菜が主役のメニュー」という、新しい美味しさをお届けしています。



◀ 緑野菜と自家製フレッシュフロマージュのサラダ

▶ プチトマトとチーズソースの冷製スパゲティ、アスパラガスのフリット添え



◀ 穂先筍と小松菜と小海老のペペロンチーノ、からすみ添え

■ 製造工場

生産効率の向上と商品開発の強化

平成17年10月、ピエトロの製造拠点である古賀工場が新しく生まれ変わりました。生産効率の向上と商品開発の強化を目的として、これまでパスタソース等の製造を行っていた第二工場の機能を第一工場へと集約させました。また、同年11月に第二工場をヨーグルト等の製造工場とし、乳製品関連の商品開発を強化しています。

「大きな厨房」

古賀工場では、工場というイメージにはほど遠い多くの従業員が製造にあたっています。それは製造工程の中で人の手による作業を多く残しているためです。ドレッシングの充填作業や商品の梱包作業などは機械によるものの、玉ねぎを切る作業や調味料をブレンドする作業などは手作業で行っています。それは、創業時にレストランの厨房でひとつひとつドレッシングをつくっていた方法と変わりません。このことから、当社では古賀工場のことを「大きな厨房」とも呼んでいます。

たくさんのお客様にご愛顧いただき、大量生産を可能にするオートメーション化も検討しましたが、お客様からの「美味しい」というその一言がいただきたくて、人の手のぬくもりや愛情が感じられる手作りの製造方法にこだわっています。



古賀第一工場
所在地 福岡県古賀市鹿部 335-43



古賀第二工場
所在地 福岡県古賀市鹿部 335-40

商品一覧

■ ピエトロドレッシング ——— 賞味期限 3ヶ月



中華 180ml/378円

辛ごまソース 180ml/336円

オニオン粒マスタード 180ml/378円

New 通信販売限定商品

280ml/472円

New

平成18年9月1日発売

ピエトロドレッシング「グリーン」

「サラダを食べたときに美味しいと思える必要最低限の量」まで気になる油分をカットし、「美味しさ」と「健康」のバランスを追求したドレッシングです。

■ スパドレ(簡単パスタソース) ——— 賞味期限 3ヶ月 各180ml/378円



■ ピエトロスパゲティ (1.6mm) ——— 賞味期限 3年 300g/273円 500g/441円



■ ソース&オイル

賞味期限 6ヶ月 賞味期限 1年 賞味期限 6ヶ月



■ ピエトロスープ ——— 賞味期限 9ヶ月 各210円



■ ピエトロパスタソース ——— 賞味期限 1年



■ パスタベースソース ——— 賞味期限 3ヶ月



豆とかぼちゃのスパイシートマト ——— 賞味期限 1年 130g/367円

ピエトロパスタソース「豆とかぼちゃのスパイシートマト」を使った調理例

食べかた TWO WAY

具たくさんスパイシートマトスープ

作り方

* 材料
キャベツ、固形スープ、ピエトロパスタソース「豆とかぼちゃのスパイシートマト」

* 作り方
①キャベツは食べやすい大きさに切る。
②鍋に①、ピエトロパスタソース「豆とかぼちゃのスパイシートマト」、水、固形スープを入れ、ひと煮立ちさせてでき上がり。

■ ピエトロヨーグルト ——— 賞味期限 2週間



■ コーヒー ——— 50g/189円



■ ピエトロが日本でいちばん好きな水



●お問い合わせ(通信販売)

フリーダイヤル
0120-37-7750

受付時間 9:00~17:30
(日・祝日・第3土曜日・お盆・年末年始を除く)

オンラインショッピング
<http://www.pietro.co.jp/shopping/>

価格はすべてメーカー希望小売価格(税込)です。
(平成18年6月現在)

営業の概況

平成18年3月期の連結売上高は101億2百万円(前期比0.6%増)、営業利益は7億円(前期比12.4%増)、経常利益は6億38百万円(前期比18.0%増)、当期純利益は1億76百万円となり、増収増益を達成いたしました。

■ 食品事業

食品事業におきましては、エリア政策として、首都圏・関西圏を重点に販売強化に取り組むとともに、販売店政策として、ピエトロブランドに対する理解と浸透に努めてまいりました。さらに、新商品開発にも注力し、平成17年9月にピエトロドレッシング「イタリアーノ」とパスタソース「たらこクリーム」を、平成18年3月にお料理ソース「辛ごまソース」とピエトロドレッシング「中華」を新発売いたしましたが、販売競争の激化と冬場の厳冬による野菜の品薄・高騰の影響により、売上高は伸び悩む結果となりました。また、生産効率の向上と商品開発の強化を目的に、生産拠点の「古賀工場」(福岡県古賀市)の第一工場と第二工場の機能を第一工場に集約するとともに、乳製品製造子会社の株式会社ピエトログルト(平成18年1月17日付清算)の「えびの工場」(宮崎県えびの市)の機能を第二工場に移管しました。一方、米国でのドレッシング・ソース類の販売を行っているPIETRO USA, INC.は、平成18年3月31日付をもって、その営業の全部を譲渡いたしました。以上の結果、売上高は47億80百万円(前期比0.4%減)、営業利益は15億98百万円(前期比2.7%減)となりました。

■ レストラン事業

レストラン事業におきましては、「野菜でイタリアン」をテーマに、季節ごとの旬の野菜を使ったメニュー展開をし、集客増に取り組んでまいりました。また、直営の店舗展開では、ミオミオ事業の不採算店の収支改善のため2店舗をレストラン事業に移管し、新業態のカフェ及びレストランとしてリニューアルオープンいたしました。一方、FC(フランチャイズ)店におきましては、ロイヤリティを出店数に応じた逓減方式に改め、FC店オーナーへの経営支援と出店意欲の向上を図ってまいりました。さらに、FC店の店舗展開では、国内3店舗、海外2店舗の合計5店舗を新規出店いたしました。以上の結果、売上高は44億58百万円(前期比1.8%増)となり、営業利益は50百万円(前期比62.7%増)となりました。

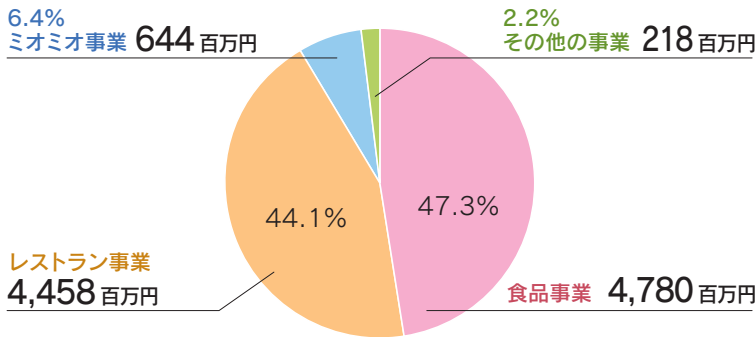
■ ミオミオ事業

ミオミオ事業におきましては、メニュー開発に注力し、定番メニューのサラダパスタの充実に努めるとともに、低価格メニュー及び季節メニューの開発・販売に取り組んでまいりました。また、既存店の認知度向上による集客増と経費の効率化に取り組み、店舗展開では、1店舗の新規出店をする一方、3店舗を閉店いたしました。以上の結果、売上高は6億44百万円(前期比2.3%減)となり、営業損益は1億65百万円の損失となりましたものの前期比1億26百万円の改善となりました。

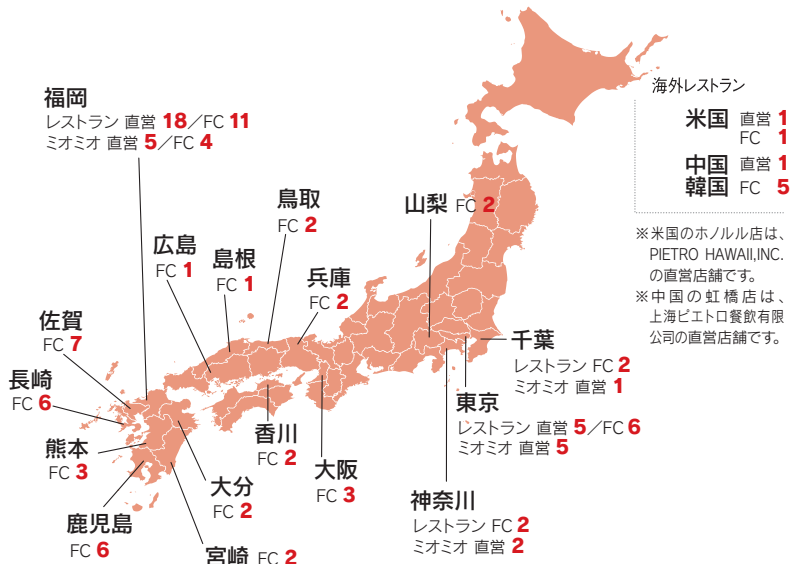
■ その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビル等の賃貸事業の入居率の高まりにより、売上高は2億18百万円(前期比8.3%増)、営業利益は1億20百万円(前期比15.1%増)となりました。

● セグメント別売上構成比

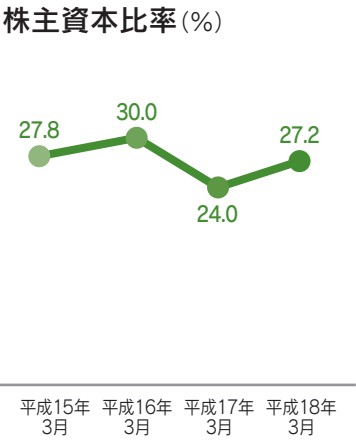
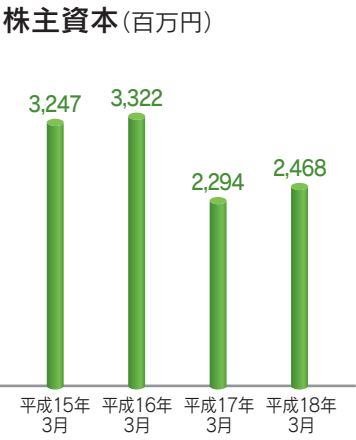
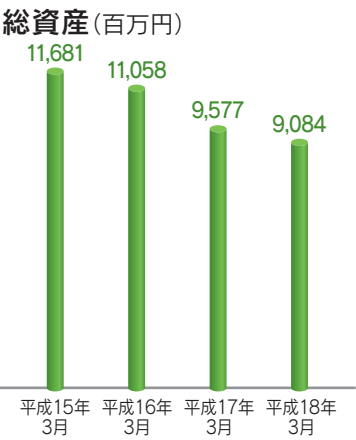


● 店舗分布状況 (平成18年3月31日現在)



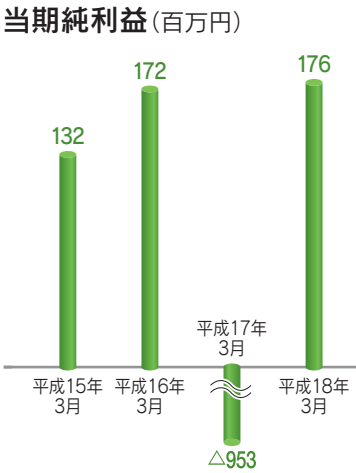
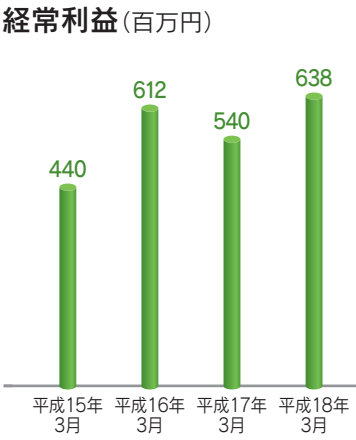
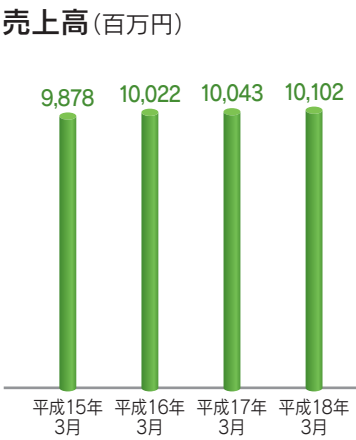
連結財務諸表

連結貸借対照表



科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成17年3月31日現在)	第21期 (平成18年3月31日現在)
流動資産	2,703,419	2,533,445
現金及び預金	1,088,644	1,059,173
預け金	67,637	74,242
売掛金	1,015,840	1,090,315
たな卸資産	142,005	122,860
繰延税金資産	51,545	104,509
その他	348,431	101,304
貸倒引当金	△10,686	△18,961
固定資産	6,874,039	6,550,802
有形固定資産	4,666,805	4,598,726
建物及び構築物	2,356,591	2,333,227
機械装置及び運搬具	128,610	97,798
工具器具備品	149,010	129,343
土地	2,030,435	2,030,435
建設仮勘定	2,157	7,921
無形固定資産	11,493	12,065
投資その他の資産	2,195,739	1,940,010
投資有価証券	88,508	95,389
長期貸付金	104,164	—
差入敷金保証金	968,493	982,239
繰延税金資産	738,130	542,460
その他	406,818	365,615
貸倒引当金	△110,375	△45,694
資産合計	9,577,458	9,084,247
流動負債	3,339,906	3,413,118
買掛金	530,452	540,155
短期借入金	1,350,000	1,300,000
1年以内返済予定長期借入金	775,932	772,594
未払金	386,189	502,650
未払法人税等	12,617	22,913
賞与引当金	72,583	58,530
その他	212,130	216,274
固定負債	3,943,100	3,202,278
長期借入金	3,134,865	2,558,919
長期未払金	241,770	115,500
預り敷金	124,418	117,929
退職給付引当金	44,176	34,815
役員退職慰労引当金	259,364	279,895
その他	138,505	95,218
負債合計	7,283,006	6,615,396
少数株主持分	75	—
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,387,084	1,502,484
その他有価証券評価差額金	9,320	14,272
為替換算調整勘定	△93,241	△39,119
自己株式	△109	△109
資本合計	2,294,376	2,468,850
負債、少数株主持分及び資本合計	9,577,458	9,084,247

連結損益計算書



科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第21期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	10,043,780	10,102,751
売上原価	4,435,702	4,579,581
売上総利益	5,608,078	5,523,170
販売費及び一般管理費	4,985,185	4,822,732
営業利益	622,892	700,437
営業外収益	9,783	21,173
受取利息	454	4,061
受取配当金	328	447
為替差益	—	8,012
その他	9,001	8,651
営業外費用	91,930	83,280
支払利息	67,213	58,619
シンジケートローン手数料	14,299	11,451
その他	10,417	13,210
経常利益	540,746	638,330
特別利益	13,038	—
固定資産売却益	9,858	—
投資有価証券売却益	3,180	—
特別損失	2,033,302	304,660
固定資産売却損	26,676	—
固定資産除却損	193,231	44,563
災害損失	—	18,224
会員権評価損	6,600	17,050
減損損失	1,611,089	70,308
貸倒引当金繰入額	108,847	32,279
貸倒損失	—	13,512
店舗閉店損失	—	77,226
その他	86,856	31,494
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△1,479,517	333,669
法人税、住民税及び事業税	4,180	13,007
過年度法人税等	—	4,482
法人税等調整額	△529,325	139,349
少数株主損失	951	75
当期純利益又は純損失(△)	△953,421	176,906

連結財務諸表

連結剰余金計算書

科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第21期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
〔資本剰余金の部〕		
資本剰余金期首残高	516,922	516,922
資本剰余金期末残高	516,922	516,922
〔利益剰余金の部〕		
利益剰余金期首残高	2,425,036	1,387,084
利益剰余金増加高	—	176,906
当期純利益	—	176,906
利益剰余金減少高	1,037,952	61,506
当期純損失	953,421	—
配当金	55,915	61,506
新規連結に伴う減少高	28,615	—
利益剰余金期末残高	1,387,084	1,502,484

連結キャッシュ・
フロー計算書

科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第21期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,788	1,055,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,127	△296,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△564,145	△875,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,939	15,426
現金及び現金同等物の増減額	△3,545	△101,515
現金及び現金同等物の期首残高	1,099,432	1,103,782
新規連結による現金及び現金同等物の増加高	7,895	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,103,782	1,002,266

個別財務諸表

個別貸借対照表

科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成17年3月31日現在)	第21期 (平成18年3月31日現在)
流動資産	2,548,415	2,309,842
固定資産	7,509,339	7,229,515
有形固定資産	4,609,298	4,543,381
無形固定資産	11,493	11,899
投資その他の資産	2,888,547	2,674,234
資産合計	10,057,755	9,539,358
流動負債	3,309,612	3,384,565
固定負債	3,933,631	3,205,088
負債合計	7,243,244	6,589,653
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,813,977	1,944,218
その他有価証券評価差額金	9,320	14,272
自己株式	△109	△109
資本合計	2,814,510	2,949,704
負債・資本合計	10,057,755	9,539,358

個別損益計算書

科 目	(単位:千円)	
	第20期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第21期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	9,816,373	9,883,847
売上原価	4,406,589	4,556,756
売上総利益	5,409,784	5,327,090
販売費及び一般管理費	4,636,288	4,570,405
営業利益	773,495	756,685
営業外収益	9,981	17,878
営業外費用	85,379	79,201
経常利益	698,097	695,362
特別利益	13,038	—
特別損失	2,232,098	343,126
税引前当期純利益又は純損失(△)	△1,520,962	352,235
法人税、住民税及び事業税	4,000	5,518
過年度法人税等	—	4,482
法人税等調整額	△539,351	150,487
当期純利益又は純損失(△)	△985,610	191,747
前期繰越利益	105,082	160,320
当期末処分利益又は未処理損失(△)	△880,528	352,068

会社の概況

■ 会社概要 (平成18年3月31日現在)

会社名	株式会社ピエトロ
英訳名	PIETRO Co.,Ltd.
創業	昭和55年12月9日
設立	昭和60年7月29日
資本金	4億7,440万円
本社所在地	〒810-0001 福岡市中央区天神三丁目4番5号 電話 092-716-0300(代表)
代表者	代表取締役社長 村田 邦彦
従業員数	正社員 212名 臨時従業員(7.5時間換算) 450名
事業内容	食品事業、レストラン事業、ミオミオ事業 その他の事業(本社ビル等の賃貸)
支社・営業所	東京支社、福岡営業所、広島営業所 大阪営業所、名古屋出張所、札幌出張所
工場	古賀第一工場、古賀第二工場
店舗	レストラン 直営店25店舗 FC店66店舗 ミオミオ 直営店13店舗 FC店4店舗

株式の情報 (平成18年3月31日現在)

■ 株式状況

会社が発行する株式の総数	18,000,000株
発行済株式総数	5,591,630株
株主数	11,358名

■ 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社ムラタ	1,694,250	30.29
村田邦彦	931,850	16.66
西川啓子	374,580	6.69
株式会社西日本シティ銀行	203,000	3.63
株式会社福岡銀行	70,000	1.25

■ 株主優待のご案内

1. 優待内容

次の基準の保有株式数に応じて年1回贈呈いたします。
(1)100株以上～500株未満保有株主様 …………… 1,000円相当の当社商品
(2)500株以上～1,000株未満保有株主様 …………… 2,000円相当の当社商品
(3)1,000株以上保有株主様 …………… 3,000円相当の当社商品
2. 対象

毎年3月31日現在の当社株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有する株主様
3. 贈呈時期

毎年6月中に株主名簿に記載されているご住所へ発送いたします。

株主メモ

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、9月30日といたします。
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日 その他必要がある時には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.pietro.co.jp/

■ 所有者別株式分布状況

